

## 2023.07.25 シニアクラブ Online 会合報告

梅雨が明け、外は猛暑となっています。この暑さの中、外出はとても無理ですが Online 会合のメリットでそれぞれエアコンの効いた室内から参加してもらいました。



6月の会合では広重の浮世絵「東海道五十三次」で江戸から京まで旅をしました。今回タイトルの肩書に勝手に「広重も参考にしたと思われる」と付け加えた東海道名所図会で京から江戸に戻ってきました。

東海道名所図会は 1797 年に全 6 巻に纏められ、国立国会図書館デジタルコレクションではそれらすべてが閲覧可能になっています。この中から挿絵の部分抜き出して広重の浮世絵との比較、共通部分など探し出してみました。【参考資料 <https://dl.ndl.go.jp/pid/2608526>】

広重の東海道五十三次の絵は 1830 年代制作のもので、広重自身が実際に見た情景に加え名所図会や先人の絵、話を参考にしてイメージを描いた絵もあります。しかし、広重の絵が他に似ていようと、広重の絵の構図や視点、感性、高い芸術性は多くの庶民に受け入れられ、広重の名声は高まり、小さかった版元もこれで潤ったとのこと。

そしてこの絵を見るだけで旅を味わった庶民も多かったようです。

一例として二つの絵を比較してみると、京に近い石部の図で、ともにタイトルは「目川」です。広重の絵は京に近くなると名所図会からの引用が多く見られるようですが、目線の位置が低く描かれて親しみやすい絵となっています。



☆ 続いて宮田さんから、東海道を旅するのにどれだけ費用が掛かったか、どんな持ち物をもって歩いたか紹介がありました。宿を早く出て一日 40km ほど歩き、明るいうちに次の宿に泊まる、暗くなると追剥にあう心配もあるなど当時の旅の様子の説明がありました。

☆ 宮庄さんから6月に行った中国深圳の現在について説明がありました。背景の写真に写るのは雲の中に隠れる高さ 600m ものビルで、手前は 30 階以上のタワーマンションとのこと。その他、話の詳細は割愛。6月の Online 会合にはこの地から参加しようと試みましたが、ネットワークが繋がらず参加できなかった旨の報告もありました。

☆ 浅見さんから歌に託してギター伴奏と共に若き昔の真夏の思い出が語られました。「夏と言えばキャンプ！」涼しい風に吹かれて暑い炎のキャンプファイヤーの歌でした。

<https://youtu.be/h7LIVd6cIlg> 参照



皆様、これからも続く真夏の暑さに負けずお元気にお過ごしください。

2023.07.26 JVCKW シニアクラブ事務局長 田代 周

